

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市教育文化センター	
(2) 施設の設置目的	
市民に生涯学習と文化活動の場を提供し、教育に関する研究及び教育関係職員の研修等を行うことにより、文化の発展と教育の振興に資するため	
(3) 所管部局	
教育委員会事務局 教育センター 企画相談課	
(4) 指定管理者名	
JTBコミュニケーションデザイングループ (株式会社JTBコミュニケーションデザイン、南海ビルサービス株式会社、株式会社東急コミュニティー)	
(5) 指定期間	
令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで (5 年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設等貸出業務(中文化会館) ・ プラネタリウム室・天体観測室・科学展示コーナー運営業務 ・ 駐車場・駐輪場の管理運営業務 ・ 利用料金等の收受業務 ・ 施設利用案内業務、情報コーナー等に関する業務 ・ 施設等の維持管理業務(中文化会館・プラネタリウム・教育センター・中図書館等) ・ 自主事業(文化芸術振興事業及び生涯学習推進事業等) ・ 市への協力及びその他の業務 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
9時00分から22時00分まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館) ・ 12月29日から翌年の1月4日まで
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	a	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	b	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	b	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練(年2回)、指定避難所開設訓練、防災士監修の災害想定訓練を実施し、緊急時の安全対策を確認した。 ・施設を利用して活動するサークルへの貸室事業や講座を継続して開催した。また作品展を実施し、サークル発表の場を設定することで創作活動の意欲を促進した。 ・小中学生等による館内の迷惑行為に対し、指定管理者、警備員等との連携を強化し、迷惑行為の減少につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害(地震)時に指定避難所となることを理解し、施設の機能や特性を把握した上で、消防訓練等を実施し、来館者の緊急時の安全確保に努めた。 ・仕様書に基づき、施設運営業務や講座等の自主事業を行った。またプラネタリウムを活用した教育関係職員の研修や中図書館イベント等の連携事業を実施した。 ・迷惑行為等の監視や施設の異常の有無等を警備業務で適切に行い、緊急異常時には警察署や消防署等に速やかに連絡した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	JTBコミュニケーションデザイングループ	JTBコミュニケーションデザイングループ	JTBコミュニケーションデザイングループ
利用者数(単位:人)	142,761	165,210	166,931
稼働率(単位:%)	57.2	56.0	55.0
利用者満足度(単位:%)	96.4	97.7	95.4

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	b	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
施設予約システムで7月からクレジットカード決済が可能となり、来館しなくても利用申込が完結する利便性を浸透させ、利用を促進した。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中であるが、スムーズに施設予約システムにクレジットカード決済を導入することができた。 ・また、利用者アンケートでは利用者満足度や施設の快適さ等において高い評価を得ている。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		JTBコミュニケーションデザイングループ	JTBコミュニケーションデザイングループ	JTBコミュニケーションデザイングループ	JTBコミュニケーションデザイングループ
収入	指定管理料	170,396,000	150,998,968	150,998,968	150,998,968
	利用料金	64,323,204	62,057,409	60,393,887	71,794,000
	負担金	0	0	0	0
	その他	9,381,758	33,299,741	30,971,720	28,354,307
合計		244,100,962	246,356,118	242,364,575	251,147,275
支出	人件費	106,851,100	110,921,278	104,532,201	103,293,700
	委託料	79,649,504	79,907,314	80,324,354	80,872,600
	総支出額に占める委託料の割合	30.0%	29.9%	29.9%	32.2%
	修繕費	1,113,074	2,178,924	2,547,237	3,720,000
	光熱水費	41,958,124	37,803,332	43,843,067	29,300,000
	その他	35,785,640	36,666,772	36,973,835	33,960,975
合計		265,357,442	267,477,620	268,220,694	251,147,275
収支差額		-21,256,480	-21,121,502	-25,856,119	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-

■自主事業 (有)

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収入	6,119,225	5,193,123	6,679,160	11,972,830
支出	15,110,447	13,154,967	13,152,090	15,191,331
収支差額	-8,991,222	-7,961,844	-6,472,930	-3,218,501
(市への納付金の額)	8,891	8,891	8,891	8,891

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を削減するための十分な取組が図られているか。	a	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	b	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	a	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
こまめな消灯など可能な限り節電に取り組み、光熱費抑制に努めたが、人件費、物価及び光熱費の高騰の影響もあり収支差額は過去最高のマイナスとなった。	人件費は令和5年度より支出減となったが、光熱水費高騰の影響等により、収支差額がマイナスとなった。収支状況は赤字ではあったが、施設の管理運営や経費削減の取組等についてはおおむね水準どおりの運営がなされたと考える。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
プラネタリウム番組数	20本以上	23本
学習投影開催件数(年間実施回数)	155回以上	138回
学習投影開催件数(堺市小学校参加率)	70%以上	43.5%
施設稼働率(年間日数稼働率)	60%以上	55.0%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者の満足度	97%以上	95.4%
中文化会館利用者数	220,000人以上	166,931人
プラネタリウム観覧者数	44,000人以上	32,503人 ※機器更新のため 3か月休館

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金等収入	66,000千円以上	60,393千円

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>・プラネタリウムは投影機器更新に伴う休館があったため、学習投影開催件数、堺市小学校参加率、有料観覧者を含むプラネタリウム観覧者数の目標が未達成となった。</p> <p>・利用者満足度は目標未達成であるが、日ごろの丁寧な対応の結果、アンケート調査の他の項目(「清掃」「スタッフの対応」「施設の快適さ」など5項目)ではおおむね高い評価を得た。</p>	<p>仕様書で定める目標に対して未達成の項目があるが、中文化会館利用者数は増加傾向にあり、コロナ禍前の利用者数に戻つつある。また、プラネタリウム観覧者数も約3か月の休館期間がなければ、目標に近い数値であったと考える。おおむね水準どおりの管理運営がなされており、施設稼働率とプラネタリウム学習投影の堺市小学校参加率の向上が課題である。</p>

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

評価	指定管理者	所管課
	B	B
評価の理由	<p>・目標に対して中文化会館の利用人数は75.9%、施設稼働率は91.7%、利用料金等収入は91.5%にとどまり、いずれも目標値には届かなかった。</p> <p>・しかし、令和5年度比でみると利用人数は微増、利用料金等収入は、プラネタリウム休館分を差し引くと令和5年度実績と同等という結果となり、横ばいの傾向は継続している。</p>	<p>・安定した施設設備の維持管理を行い、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>・目標未達成の中文化会館利用者数やプラネタリウム観覧者数、施設稼働率等については、新規利用者の獲得や施設稼働率の向上に向け、施設情報誌を市内大学キャンパス(大阪公立大学等)や大型商業施設に新たに配架し、事業PRの強化を行う等の工夫を行い、おおむね仕様書で定める水準どおりの管理運営がなされた。</p>

評価基準	A	B	C	D
	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの